



発行所
三池炭鉱労組
大牟田市不知火町2
電話 3030番
8100
編集 兼 山下 開
発行 兼 山 下 開

われわれのあくまで廃止しよう
と欲するものは、ただ、労組は
資本を増殖するためにのみ生活し
ていて、支那階級の利益が必要とし
なければ生活することができない
という、そんなみじめな取得の性
格である。 共産党宣言

一一・九を迎え総決起しよう

CO立法化をすすめるよう

遺族・被災者の現状と問題点

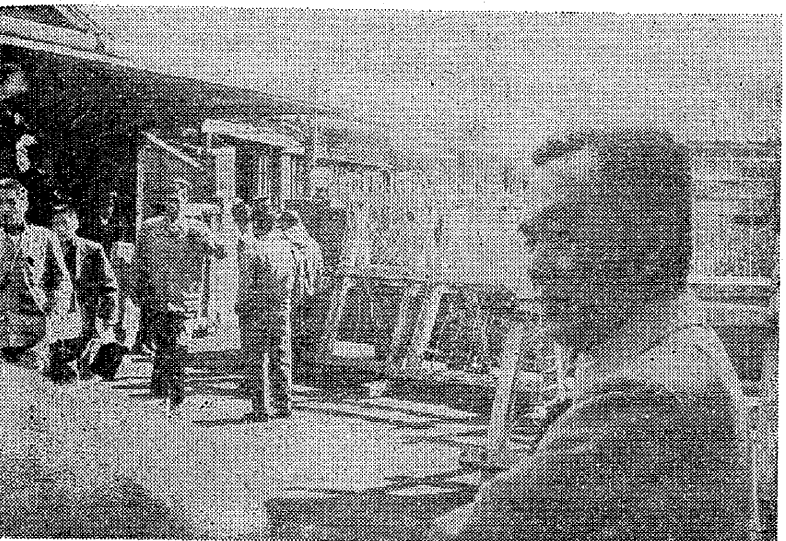
遺族・被災者の現状は、ひと口に「一年前よりなお一層苦しい状況の中にある。」
三井鉱山は、この四月に提出した「遺族・被災者」に関する要求に対して全く不誠意な返答を返した。すでに解決をみたし、一応の責任は完遂したとでも思っているのだから、
夏闘争から秋闘争へと前進しつつある三池労組全体の取組みは、このような経過の中から出されたものであり、今日の情勢は内外ともに予期以上の盛り上がりを示しつつある。
一方政府の遺族・被災者への救済措置は十分とはいえず、特に遺族対策として設置された日紡・アソニート西工場に於ける、賃金・労働条件は予想以上に劣悪であり、三井鉱山をバイパスしたこれらのめぐる交渉は予想外に進展しないままに今後果敢に闘うことは勿論である。

主張 真実を 阻むことはできない

わたしたちは、終始一貫して生命を守る闘いが、労組組合の主要な任務であるという自覚のもとで、きびしい弾圧にも屈せず、長期抵抗路線の展開にたつて、闘いをすすめてきた。
九月以降宮浦は公休日は当然保安のための補修作業に限られていたものの採炭作業が重要とされ、松岡保さん(新労組員)が殺されたこと、三〇分強制残業による疲労増大・標準作業量一斉引き上げによる不安など、労組意欲の減退は目標一八、〇〇〇トンに対し、実績一四、〇〇〇トンと大幅に出炭減をくりだす結果となった。
このように減産の責任は当然保安無視・一方的労働強化の合理化政策をした三井資本が問われなければならない。
謀略による組合運動の封殺
「自戒」をうけて八月三日四山鉱において配置転換を一方的に実施し、それに抗議した組合員五名に処分をせよと、九月十七日宮浦支部官本部長分長会長の保安抗議を理由として一五日間の出勤停止処分、ついで九月二十三日宮浦支部に於ける保安抗議に対する解雇を含む六二名の大量処分と、生命を守るための職場闘争を封殺し、〇〇億借金の肩代りという産業正当な組合活動に対する弾圧を繰り返すために、なにか

「地底の叫び」をかきつけて 北海道をまわって

私たちが北海道オルグ班三名は、一〇月一五日北海道の地を踏む一五日間のオルグの任につきまわった。
異国的におおむね雄壮な自然にみまわれる北海道では冬仕度の真最中で、冬の重要な副食の位置を占める大根干しが軒並みに



バリケードを組み副鉱長以下守衛役をする宮浦正門

道産労働一七七名を「地底の叫び」の映写をやりながら、オルグして炭鉱にゆく者同志の共感の中から下部組合員の「生命を守る闘いに妥協はない」という強い息吹きを確認することができました。
「地底の叫び」を見、すべての人が涙を流して、ショックを受けた、という反響をまき起し、もっと早く各地をまわって世論を巻き起すべきだという意見が出され「政府・資本家に対して強い憤りを抱かせる。これは他人ごとではない。同じ条件下の第二組合が生命を守る闘いすらもしないというのはおかしい」と語っていた。その遺族側では、九月二〇名一〇月二五名の死亡者を出しているほど被害が多い。
炭鉱地帯の子供が「川は黒い」と思っているように、美しい自然の中に遺族のために黒い川と化しているのが奇異の感にうたれ私たちがやるべきことの多さを痛感した。

四山につつき宮浦の総計一七七名に及ぶ解雇を含む不当処分に対し、三池労組は次の声明書を発表し、最後まで闘うことを誓う。

声明書

以上のような波状的大量処分のねらいは、出炭低下の原因が三井鉱山の保安無視の「出炭第一主義」政策によることを反省せず、新労組員の不満要求をおさえ、三池労組の組合活動を謀略的に弾圧し、労働強化に追いこもうとするものである。
われわれをとりまく情勢は、日韓条約批准をめぐる政府の反動性にもみまもなくきびしいものであるが、正当な組合活動の弾圧をはじめ、三井資本の保安サボ合理化を隠べいし、統廃災の責任を組合に転嫁することがことごとく通気門デッチ上げ事件は絶対許せない。
よってわれわれは夏闘争以来、長期抵抗路線を基調に実践するなかで資本の合理化の矛盾を拡大し新労組員の接近など民主的権利を守る正しいたたかひの成果を確認し、より発展させるために総評連帯強化をふかめ、反合理化、反戦平和のたたかひを最後までたたくことを誓う。
一九六五年一〇月二十七日
三池炭鉱労働組合
三池炭鉱主婦会

不当弾圧に抗して

九月二三日二四時間ストに突入し、会社に抗議を行なった。
しかるに会社は先に四山支部における一方的配置転換抗議をめぐる五四名の処分を引きつづき追いつ打ちをかけるように、解雇をふくむ六四名の大量処分を発表した。
また二〇日には宮浦鉱通気門保安施設妨害事件をデッチあげ、真崎宣氏を解雇する悪質な謀略行為を強行した。

このように会社は災害責任を放棄し、保安を守るための労働者の意見を封じこめる不当な報復弾圧を強行した。三池労組はこの不当弾圧を絶対認めることができないため九月二三日二四時間ストに突入し、会社に抗議を行なった。
しかるに会社は先に四山支部における一方的配置転換抗議をめぐる五四名の処分を引きつづき追いつ打ちをかけるように、解雇をふくむ六四名の大量処分を発表した。
また二〇日には宮浦鉱通気門保安施設妨害事件をデッチあげ、真崎宣氏を解雇する悪質な謀略行為を強行した。